

原発ゼロ前倒し年限明示 蓮舫代表 先送り正式表明

菊池製作所福島工場でマッスルスーツを試着する蓮舫代表（左から2人目）



飯館の菊池製作所視察

民進党の蓮舫代表は二十七日、二〇三〇年「代」と掲げてきた「原発ゼロ」目標の前倒し案について、十二日の党大会で年限を示すこ

とを先送りする考えを正式に表明した。飯館村を視察後、記者団に「年限より中身にこだわりたい」と強調した。党執行部は「三〇年

代」を「三〇年」に繰り上げる方向で検討を進めている。ただ電力総連を傘下に抱える支持組織の連合が反対しているため、六月十八日の通常国会会期末まで年限の明示は見送る構えだ。

蓮舫氏は、東日本大震災からの約六年間に「省エネルギーや再生可能エネルギーの普及が進んだ」と指摘。「原発を将来ゼロにするのは可能だ。その思いを旗に掲げることを（党大会で）共有した

い」と述べた。

野田佳彦幹事長は二十七日の記者会見で、蓮舫氏の党大会での発言を巡り「きちっと党内での手順、議論を踏まえた発言をすることになる」との認識を示した。

蓮舫氏は飯館村で、ロボット産業で地元の雇用確保に取り組む菊池製作所福島工場を訪れ、マッスルスーツを試着した。菅野典雄村長とも意見交換し、復旧に取り組む姿勢をアピールした。